

# 冷温水にも水質管理

冷温水系統では冷却水系統のように循環水が濃縮したり、外気(大気中の汚染物質)の影響を受けることはありません。しかし、冷温水系統は密閉もしくは半密閉系統であり、循環水を入れ替えることが少ないうえに、管理者の目に触れることが少ないために、系統内で思わぬトラブルが発生していることがあります。

冷温水系統での障害の大部分は腐食障害です。腐食事例の多くは次の通りです。

温水系統は水温が高い為腐食しやすい。

溶存酸素による腐食。

材質(鉄と銅)による電食。

流速による腐食。

新設配管時、SGP(白ガス管)の亜鉛が多く溶出し、配管を閉塞させる。



【内視鏡写真】

このように、冷温水系統では、腐食が進行しやすい傾向にあります。このため、腐食生成物による循環水量の低下(配管の閉塞)や腐食による水漏れが発生してから腐食に気づくケースも少なくありません。

そうなる前に、防錆剤を投入し、定期的に水質検査による状況確認をすることが必要となってきます。

防錆剤注入は配管内に直接投入もしくは薬注装置を使用します。

防錆剤のメリットは、各種配管の金属表面に保護皮膜を形成することにより錆・スケールの発生を抑制できます。

## 取り扱い商品

日本農薬株式会社			
ポリレート106	5	~ 90	対応
ポリレート108	20	~ 90	対応

三菱ガス化学株式会社			
コントライムK-6000	0	~ 60	対応
コントライムK-6500	0	~ 90	対応



ポリレート106 2% 大阪市水



ポリレート106 2% 大阪市水

浸漬  
3日間経過



SS41 Cu SS41 Cu



SS41 Cu SS41 Cu

## <テストピースによる腐食抑制テスト> ポリレート106使用例

3日間の浸漬により大阪市水のみ  
のSS41のテストピースは光沢も  
なくなり、錆が発生しました。

一方、ポリレート106を2%投入分  
においては浸漬前とほとんど変化  
はありません。

現在他製品を御利用の場合は、一度水入れ換えをするか、現状の状態でも問題ないか確認する必要があります。

すでに、赤水等が発生している場合は、冷温水配管洗浄実施後、防錆剤投入が効果的です。



お問い合わせ  
**日本水処理工業株式会社**  
 530-0046 大阪市北区菅原町8-14  
 TEL06-6363-6370  
 FAX06-6363-6371  
<http://www.mizu-shori.com>